

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている やや良くなっている			
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・高速道路料金引下げの影響はまだ持続しており、観光客は増えている。ただし、平日は落ち込んでいるため、全体としては若干の増加にとどまっている。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・前年12月から、売上の前年比は下げ止まっている。前々年度の世界同時不況の影響に伴う低い水準との比較であり、楽観できる業績ではないが、回復の兆しは見えてきている。気温の低下や特価品の好調などの要素はあるものの、前年11月までの先行き不透明な状況からは脱しつつある。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・相変わらず、アパレル関連商材は不調であるが、パレンタイム商戦の売上は過去最高である。数か月前まではすべての商材が不調で、売上の前年比は2けたのマイナスであった。しかし、今月は前年の売上には達していないものの、好調な商材も見られるようになってきており、消費が増える兆しが見られる。
		百貨店（販売担当）	単価の動き	・前年より、客の関心は価格から品質、安心感へと変化しており、この変化は顕著になってきている。来客数が増加傾向にあることに加えて、客単価や商品単価も前年比で上昇している。また、量販商品よりも高価格商品の売上や来客数が伸びている。
		百貨店（営業企画・販売促進）	競争相手の様子	・前月あたりから、当社を含めて県下の売上の前年に対する落ち込みは、緩やかになってきている。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・来客数は横ばいであるが、客単価は3.3%上昇している。
		衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・商品が動き始めている。ただし、良くなっている客と悪くなっている客がある。若者中心の会社の回復は早いですが、年配中心の会社は苦戦している。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・例年に比べて、新規の店頭来客数は減っている。土日の減少は特に顕著である。しかし、前年と比べれば、かなり良くなっている。補助金の効果が大きい。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー減税や、補助金の実施期間の延長により、ハイブリッド車の受注が伸び、来客数も増えている。リコール問題の影響は、心配したほどには表れてきていない。3月決算に向けて、在庫車両の販売に力を入れているが、買得感の強い車両に対する客の反応は良い。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売実績は引き続き前年同月を上回っており、購買意欲は高まっている。低金利キャンペーンは終了したが、ローン利用客も特に減っていない。点検など工場への在庫量も増えてきており、法人客との取引も増えてきている。収益的にも上向きになってきている。
		乗用車販売店（従業員）	競争相手の様子	・売行きは、少し良くなっている。競争相手からも、少し売れ始めたという話を聞いている。単価もやや上昇している。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	来客数の動き	・前年末以降、売上が前年を上回る日が多くなっている。
		都市型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・景気は徐々に回復してきている。問い合わせ件数も、3か月前と比べて増えてきている。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・年末年始の旅行と比べて、春休みの旅行の動きはかなり良くなっている。
		通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・引越しに伴い、移転と同時に光インターネットへ加入する申込が増えている。
		美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・ホワイトニングのセット販売を始めており、販売量は少し増加している。
変わらない		商店街（代表者）	販売量の動き	・客単価が低いいため、販売量、売上の増加につながっていない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・客からは、地元大手自動車メーカーのリコール問題の影響もあり、景気は良くないとの話をよく聞く。

商店街（代表者）	販売量の動き	・今月に入り、低い水準で安定している。駅売店、対面販売、量販店共に、下げ止まっている。ただし、売上の前年同月比は90%台であり、良くなってはいない。特に駅売店では80%台にとどまっており、上昇の兆しは見えていない。
一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・客単価は明らかに低下しているが、例年に比べて来客数は伸びている。売上も減ってはいない。
一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・酒類を卸している飲食店では、週末の来客数が増加している様子である。ただし、店によってばらつきが見られる。
一般小売店〔土産〕（経営者）	お客様の様子	・客は必要以外の物を買わないという状況が続いている。
一般小売店〔薬局〕（経営者）	販売量の動き	・1、2月は天候不順と営業日数の減少により、売上は非常に悪い。客は必要な物しか買わないため、客単価も上昇していない。医療・医薬品業界では、1、2月にかぜやインフルエンザが流行していないため、余計に苦戦している。また、3、4月は鼻炎の季節であるが、今年は花粉量が少ないとの予想であり、関連商品の売行きも良くない。
一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・購買意欲は見られず、財布のひもは相変わらず固い。
一般小売店〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・デフレ不況の中、商店街ではバーゲンで売上を確保したいと躍起になっている。当店では春を先取りした新商品を作り提供したところ、非常に好評で、常連客も通常の買物に加えて手を伸ばしてくれている。そのため、売上は前年同月を上回っている。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・依然として、客の財布のひもは固い。
百貨店（売場主任）	来客数の動き	・平日の来客数も少ないが、土日はもっと少ない。客は郊外のショッピングモールに流れている様子である。駅前に立地しているが、平日の出張のついでや土日の旅行のついでに立ち寄りという客は、本当に減少している。
百貨店（販売担当）	単価の動き	・来客数は前年同月並みになりつつあるが、単価の下落傾向はずっと続いている。特にブライダル商品とギフトで顕著である。
百貨店（外商担当）	販売量の動き	・月前半は寒い日が多く、前月よりも重衣料の動きが良くなって、月後半には逆に暖かい日が続き、春物の動きがかなり目立っている。衣料は全体的に久しぶりに気候に応じた動きが見られる。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・安売り競争は一段と厳しくなっており、デフレが進んでいる。スーパーでは、相変わらず前年の売上を下回っている。粗利益が増えない一方で、人件費は減っていないため、赤字経営が増えている。
スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は、95%前後で推移している。衣料品は更に悪化しており、消費支出は抑えられている。食品に関しても、割引日やポイントアップ日など少しでも節約できる日に買物する節約志向が、依然として強い。
スーパー（営業担当）	単価の動き	・単価はまだまだ下がり続けている。依然として景気は良くなっていない。
コンビニ（企画担当）	来客数の動き	・来客数は減少しており、客単価も低下している。ただし2月に入り、担当する店舗の半数に横ばいの兆しが少し見られる。依然として大きく前年割れはしているものの、底に差し掛かっている。しかし、地元大手自動車メーカーのリコール問題や、老舗百貨店の駅前からの撤退などがあり、雰囲気は良くない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数、客単価共に、前年同月比5%ほどの悪化がここ半年間ほど続いている。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・売上が前年を下回る状態は継続しており、回復傾向にはない。
コンビニ（店長）	単価の動き	・客単価の動きは、全然良くない。客からは、無駄な物は一切買わないという徹底した節約志向が感じられる。そのため、販売量は全く増加していない。
コンビニ（商品開発担当）	販売量の動き	・販売量の悪さは変わらないが、全国平均と比較すると、下げ止まった感がある。
衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・来客数は、極端に減少している。それに加えて、単価の低下や、販売量の減少が見られる。しかし、来店する客からは、不景気による買い控えは見られない。

家電量販店（店員）	販売量の動き	・前年と比べて悪い状態が続いている。
家電量販店（店員）	単価の動き	・節約志向は、なお続いている。
乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・客からは、残業の減少や将来の先行き不安を抱えている様子がうかがえる。そのため、車の買換えや買物を控える傾向がある。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・前年末以降、自動車販売の動きは良く、今月も持続している。
乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・来客数は増えており、車の買換えを考える客も今年に入って多くなってきている。しかし、単価や車種に関する問題は非常に多く、実際に客が消費を増やすにはまだまだ時間が掛かる。
一般レストラン（経営者）	単価の動き	・自動車関連の製造業の客の仕事量は増えている様子であるが、その他の町工場では週休3日が続いているとのことである。
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・思ったより雪が降らなかったためか、最悪の状況にはなっていない。
一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・毎年冬場は売上、来客数共に減少するが、今年の落ち込みは例年とは比べものにならない。相変わらず低い水準で安定していて、先が見えない。
スナック（経営者）	単価の動き	・例年と比べて、送別会等の団体客を呼び込んでいるため、来客数は増えている。しかし、客単価が低下しているため、売上は伸び悩んでいる。ただし、前年来、前年同月比2～3割の売上減少が続いていたことと比較すると、今月は前年同月比1割ほどの減少にとどまっているため、少しほっとしている。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	販売量の動き	・上向きかけると失速するなど、販売量のばらつきが顕著である。
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・宿泊、昼食、夕食、婚礼の予約率は、前年同月比90%程度であり、3か月前と比べてあまり変わっていない。最悪期は脱した感じもあるが、横ばいである。
都市型ホテル（支配人）	単価の動き	・宿泊客数は、若干増えている。しかし、単価を上げることができない宴会では、需要は減っている。
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・格安な北海道旅行は、全然売れていない。近場の宿泊は、ネット客が多く、対面販売の商品は売れていない。ハネムーンの遠距離旅行も、今一つ伸びが良くない。そのため、遠距離の旅行商品の販売を目指して、単価が高いシニア層を狙っている。
旅行代理店（経営者）	競争相手の様子	・航空会社のカウンター閉鎖や、同業他社の営業所閉鎖など、旅行業界ではコスト削減が進んでいる。旅行はしても、単価が低下していることの表われである。
タクシー運転手	販売量の動き	・相変わらず、夜の繁華街の出入は極めて少ない。30年間タクシー運転手をしているが、このようなことは、これまで経験したことがない。そのため、タクシー業界では非常に悪い状態が続いている。
タクシー運転手	お客様の様子	・高齢者は少々のことなら通院を控えるようになっており、午前中の通院でのタクシー利用客数は減っている。夜の繁華街の出入も非常に少なくなっており、併せて、タクシー利用客数は減少している。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・光回線電話の販売は伸びている。しかし、従来の電話回線は減少傾向にある。今後も同じ傾向が続く。
通信会社（開発担当）	それ以外	・電話回線数に、大きな変動はない。
テーマパーク職員（総務担当）	お客様の様子	・回復する兆しはあるものの、景気低迷は続いている。将来不安のためか、消費は上向いていない。
ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・前月に続き、雪のため、来場者数は減少している。目標との差は大きくないが、前年同月と比べると大きな差がある。しかし景気動向に関しては、どちらともいえない。
美容室（経営者）	お客様の様子	・客の収入などはあまり変わっていないと思うが、消費をかなり抑えている様子である。
住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・特別なこともなく、横ばいが続いている。
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・住宅販エコポイント制度が始まったため、今後は受注量に動きが見られるかもしれないが、今のところ状況は変わっていない。

やや悪くなっている

一般小売店 [高級精肉] (企画担当)	販売量の動き	・売上は回復しておらず、前年同月比90～95%で推移している。消費マインドは弱い。
一般小売店 [贈答品] (経営者)	お客様の様子	・今月は更に悪くなっている。客は付き合いの幅をかなり絞っている。葬式の際にも、香典を少なくしたり、取り止める人が増えている。そのため、贈答品店での返礼品の購入が減り、悪くなっている。
一般小売店 [自然食品] (経営者)	販売量の動き	・例年2月は販売量が減る傾向にあるが、今月は来客数、客単価共に前年を1～2割下回っている。
一般小売店 [惣菜] (店長)	来客数の動き	・今年に入り2か月が経過したが、年始の初売りこそ前年並みであったものの、その後は苦戦が続いている。先が見えない状況である。
スーパー (経営者)	お客様の様子	・どうしても必要な物以外は、売れてない。特に果物が売れない。
スーパー (店長)	単価の動き	・単価は、依然として低下している。業界全体で、単価は低下している。従来利益商材でも、単価を下げたシェア争いする状況になっている。
スーパー (店長)	単価の動き	・今月に入り、客単価の低下幅が大きくなっている。1人当たりの買上点数はほぼ横ばいであり、1品単価が低下している。客は、少しでも安い商品や特売品に集中する傾向が強くなっている。
スーパー (店員)	単価の動き	・安売りなどの広告チラシを入れると、安売り商品は売れる。しかし、通常商品は全く売れない。
スーパー (販売担当)	お客様の様子	・特売日の来客数は多いが、それ以外の日の来客数は少ない。
乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・補助金の延長もあり、例年の決算期のようなにぎわいはない。販売台数は伸び悩んでいる。
乗用車販売店 (従業員)	来客数の動き	・販売量の動きは、あまり良くない。リコール問題等の影響も、先々出てくると思われる。
住関連専門店 (営業担当)	販売量の動き	・住宅販売は低調である。住宅版エコポイント制度がスタートしたが、まだ動きはあまりない。民間企業の設備投資、工場、オフィスも、様子見である。遅れていた公共工事は増えているが、この先は減少傾向にある。リフォームは増えることが見込まれるが、金額が小さいため、やはり低調である。
その他専門店 [雑貨] (店員)	販売量の動き	・来客数が減少しており、買上単価も低下している。デフレを伴う景気の減速により、最悪の状況である。
高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・客単価は、前年の大幅下落の後、横ばいになってきている。しかし、来客数は前年割れが続いている。新メニューやイベントの販売促進策に対する客の反応も、相変わらず弱い。
観光型ホテル (販売担当)	来客数の動き	・前月に続き、宿泊客数の3割を占めるシリーズ商品の販売が全くない。そのため、大打撃を受けている。
都市型ホテル (経営者)	単価の動き	・稼働率は、前年と比べて上昇している。しかし、単価が下落しており、売上は前年並みを維持できていないとの話を、業界ではよく聞いている。
旅行代理店 (従業員)	単価の動き	・卒業旅行が多い時期であるが、家庭の事情により、参加は減っている。卒業旅行は、関東の大規模レジャー施設を除くと、ほとんどない。
旅行代理店 (従業員)	来客数の動き	・旅行の申込に来店する客は、目に見えて減少している。宿泊のみや列車、飛行機の予約などの単品商品を、インターネットや携帯電話サイトから直接申込する人が増えており、旅行代理店離れに拍車が掛かっている。
タクシー運転手	お客様の様子	・最近では以前と比べて、朝の通勤時間帯の利用も少なくなっている。夜の繁華街も、歓送迎会が多かった26日以外は、タクシーの空車であふれている。
テーマパーク (職員)	来客数の動き	・来客数は微減ながら、土産物の購入や食事等の消費は控えられており、景気は悪くなっている。
パチンコ店 (経営者)	販売量の動き	・来客数が減少している。
理美容室 (経営者)	来客数の動き	・客との会話でも、景気が良い話は聞かない。
住宅販売会社 (企画担当)	お客様の様子	・宅地分譲地への来場客は、少ない。来場客も、ローンや収入の不安を抱えているため、良い返事はなかなか貰えない。

悪く なっている	商店街（代表者）	それ以外	・商業地、住宅地を問わず空き店舗が目立つようになっており、新しいテナントもなかなか見つからない。特に物販、飲食店等の個人商店の衰退が著しく、廃業が後を絶たない。	
	一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・個人消費は、冷え込んでいる。	
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・零細な八百屋、食料品店、飲食業の取引先からは、景気が悪いとの話を聞いている。スーパーの横で安く商売している業態では、若干伸びているようであるが、全体的には悪い。	
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・2、3月の売上は、前年同月比で1割ほど減少している。外販では業務用、一般家庭共に、落ち込んでいる。店頭販売も、来客数は変わらないが客単価が低下しているため、同様に落ち込んでいる。	
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・売上、来客数共に、前年同月比で10%減少している。たばこの売上も、これまでも減少傾向にあったが、今年に入り減少幅が大きくなっている。	
	その他専門店〔貴金属〕（店長）	お客様の様子	・週末も人の動きはなく、販売量、単価共に一段と落ち込んでいる。景気の落ち込みを肌で感じる。経済的に余裕のある人がいないのか、貯蓄しているのかわからないが、とにかく消費は回復していない。	
	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・問い合わせはあるものの、低価格商品に流れる客が多く、デフレ傾向にある。自社が商品を購入する場合にはデフレ傾向は有り難いが、経済全体でみると自分の首を絞めている。	
	美容室（経営者）	それ以外	・12月以降来客数は減少しているが、寒さのため、1、2月はそれ以上に減少している。当店では客層が高齢化しており、パーマや毛染めの客が多いため単価は良いが、来客数の減少が大きい。	
	理容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず、景気の良い話は聞かれない。客はなるべくお金を使わないようにしている様子で、安い店に流れてしまう。	
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・広告を出しても、反応は全くない。	
住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・同業他社の3月期決算後の受注残は、前年に比べて著しく落ち込んでいる。来期中の受注や売上の確保は、非常に困難であるとのことである。		
企業 動向 関連	良く なっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は、回復傾向にある。ただし、短納期等によって、製品によってはスケジュールが厳しい。また、工作機関連の回復は遅い。
	やや良く なっている	窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・例年2月は受注量が減るが、今年は落ち込んでいない。取引先がこれまで在庫を圧縮してきたため、手配もれに伴う短納期の注文が増えている。同業他社が納期対応できない案件に対応することによって、シェアを伸ばそうと努力している。
		一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・引き合い件数や受注量は、増えてきている。ただし、価格と納期の競争は依然として厳しく、受注できても利益がでない状態が続いている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・期末の駆け込み需要があり、受注量は若干増加している。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は増加している。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・アジア圏の貨物量は、増加している。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・来期に向けて予算をしっかりと確保している取引先が多く、景気はやや良くなっている。
		金融業（法人営業担当）	取引先の様子	・期末資金の手当てという要素もあるものの、資金需要はわずかながら回復してきている。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・新規の案件を受注できており、ますますである。ただし、既存契約者と再契約する際に、2～3割のコスト削減を要求され、応じない場合は再契約しないとといった状況も生じている。経済の動きは一段と厳しく、デフレは収まっていない。

変わらない

出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	取引先の様子	・多くの広告代理店から、値引きやマージン率の上乗せといった要望がある。広告掲載する企業からの依頼ではなく、代理店自身の粗利益確保のためと思われる。広告業界は、非常に厳しくなっている。	
一般機械器具製 造業（経理担 当）	受注量や販売量 の動き	・下期の受注状況を見ると、ばらつきはあるものの、受注残高が上向く傾向は見られない。資金繰りに関しては何とか順調ではあるものの、業績は大きく改善していない。	
電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・例年通り、年度末に向けて設備投資が増えているため、受注量は増えている。	
電気機械器具製 造業（企画担 当）	受注量や販売量 の動き	・米国の大手金融機関の破たん以降止まっていた受注が、一部戻ってきている。しかし、製品によっては価格が低下したままであり、売上が回復する目処が立たない製品もある。	
電気機械器具製 造業（経営者）	受注価格や販売 価格の動き	・価格を下げて受注する状態が続いている。	
輸送用機械器具 製造業（総務経 理担当）	受注量や販売量 の動き	・ここ2、3か月、受注量はあまり変わっていない。しかし、鉄スクラップの価格はここ1か月で2、3割も上昇しており、景気は少し良くなっている。	
建設業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・米国の大手金融機関の破たん以降に企画した物件は、以前と比べてかなり低価格にしていることもあり、堅調な売行きである。しかし、破たん以前の企画物件の売行きは厳しく、デフレを肌で感じている。	
輸送業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・引き続き、低価格の消費財が売れる傾向にあるため、運賃収入の下落は止まっていない。	
輸送業（エリア 担当）	受注価格や販売 価格の動き	・売上の前年同月比は、3か月前はマイナス32.2%、今月はマイナス11.0%と、21.2%改善している。しかし、前年の売上は底の状態であったため、景気が良くなってきたとまではいえない。	
輸送業（エリア 担当）	受注量や販売量 の動き	・例年の季節的な動きと同様に、12月の荷物量は多かったが、今月の荷物の動きは弱くなっている。	
金融業（企画担 当）	取引先の様子	・不動産の動きは鈍く、企業の設備投資も利益の範囲内に抑えられている。大企業では利益が出ているが、これはコスト削減によるものであり、下請企業や従業員の収入にシワ寄せが出ている。その結果、消費に回るお金は少なくなっており、景気は相変わらず良くない。	
不動産業（経営 者）	取引先の様子	・期日指定の物件が、まだ多い状況である。	
行政書士	受注量や販売量 の動き	・主な顧問先である輸送業の出荷量は少なく、景気は上向いていない。	
会計事務所（社 会保険労務士）	取引先の様子	・新しい仕事が出てきており、その点では少し良くなってきたが、単価が低いので利益につながっていない。景気が良かった時の留保資金が底をついた企業も多く、今年中に景気が回復しない場合は、廃業する企業も出てくるのではと心配している。	
その他サービ ス業〔広告印刷〕 （従業員）	受注量や販売量 の動き	・受注状況は、低迷した状態であまり変わっていない。問い合わせ件数はやや多くなってきたが、受注には結び付いていない。	
やや悪く なっている	紙加工品〔段 ボール〕製造業 （経営者）	取引先の様子	・食品関連などこれまで堅調であった分野も含めて、受注量は全体的にやや減少傾向にある。また、主要取引先である自動車業界からの受注量も、地元大手自動車メーカーのリコール問題などの影響もあってか、今月中旬以降やや減少気味になっている。
	パルプ・紙・紙 加工品製造業 （総務担当）	受注量や販売量 の動き	・受注量、販売量共に、減少している。厳しい状況が続いている。
	化学工業（企画 担当）	受注量や販売量 の動き	・受注量が減少する傾向は変わっていない。来期に関しても、売上の増加は見込まれない。
	金属製品製造業 （従業員）	受注価格や販売 価格の動き	・引き合い件数は増えてきているが、価格の下落傾向は止まっていない。業者間で首の絞め合いをしている。
	電気機械器具製 造業（営業担 当）	受注量や販売量 の動き	・事業仕分け等の影響もあり、国の補助事業の許認可が遅れているため、いくつかの予定完工案件が遅れている。
建設業（営業担 当）	取引先の様子	・特殊車両で外注先の作業場に出掛ける回数は、3か月前と比べても、1、2年前と比べても減っている。	

	輸送業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・メーカーを中心に、荷主からの運賃値下げ要請が頻繁にある。値下げに応じない場合は、取引を継続できない。上場企業の増益は、取引業者の条件悪化や賃金、賞与を含めたコスト削減に支えられており、見かけだけである。	
	金融業（従業員）	取引先の様子	・大手自動車メーカーや下請企業など自動車関連で働く客によると、給料は安定しておらず、先行きも良くないとのことである。	
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・取引先企業は、広告予算を減らしている。回復の兆しはまだ見えてこない。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・個人事業者の収入は、前年度比マイナスが目立つ。1、2月の状況を聞いても、建設関係、飲食関係、賃貸アパート関係等の収入が悪くなっている。	
悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・1月は10月と比べて営業日数が少なかったものの、売上は43%となっており、赤字幅は大幅に拡大している。	
	鉄鋼業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・需要が全く伸びていないなか、原材料価格は海外市況の影響によって上昇しており、中小の下請企業では原材料の手配もままならない状況にある。需要がないなか、価格競争は激しくなっており、収益は一段と悪化している。	
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は、前年同月比で大きく落ち込んでいる。引き合い件数も、引き続き減少している。	
	公認会計士	それ以外	・顧問先の中小企業では、業績が悪化している。賞与を削減する中小企業が増えている。	
	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	受注量や販売量の動き	・中部のみならず、全国で受注量が激減している。年度末決算は、下方修正している。	
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・来期需要が減少する客もあるが、増加する客も始めている。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・半導体業界など一部業界では、増産に伴う人員増加がある。これまで派遣社員を削減してきた反動もあり、10名以上の規模での依頼が多くなっている。単月の求人件数も、前年の115%にまで回復している。
	求人情報誌製作会社（編集担当）	求人数の動き	・前年は採用を中止していた企業のうち、少しずつではあるものの、採用を再開する企業が増えつつある。	
変わらない		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・相変わらず、求人は全くない状況である。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・早期退職した中高年の再就職希望者が増加しているが、紹介先が少ないため、失業者数が増えている。
		人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・人材派遣業界では、需要は回復していない。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・新規の派遣求人数の前年同月比は、2か月連続で150%以上となっている。ただし、依頼の大部分は既存の派遣社員の交代に伴う受注であり、増員依頼は少ない。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・派遣社員の求人数が増加している業界が出始めている。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子	・派遣契約期間を3月末としている企業が多いため、3月までは何とか現状維持である。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・求人広告は、下げ止まっている。製造業の求人は相変わらず少なく、全体的にみても悪い状態に変わりはないが、製造業以外の業種で新規求人が出始めている。
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数の減少が継続している。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数は、先月とほぼ同数である。新規求職者数が減少傾向にならない限り、景気は良くなるはない。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求人数は相変わらず低調であるが、新規求職者数の増加の伸びが、止まってきている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・有効求職者数は、若干減少してきているものの、まだ高止まりしている。求人数も、若干増加しているが、横ばいに近い。

	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者数は前月と比べて大幅に増加し、正社員の解雇等も増加している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、前月と比べて微増している。ただし、前年同月比では20%以上減少している。また、製造業の求人の減少傾向も続いている。飲食サービス業でも、個人消費の低迷もあり、40%以上減少している。求職者数は、前月比では増加している。就職件数は、前年同月比はプラスであるものの、前月比はマイナスである。
	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・求人数は、やや減少傾向にある。
	民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・求人数は、予想通りには増加していない。ただし、減少もしておらず、低い水準で安定している。
	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・前年は採用を凍結していた企業で、求人を再開する企業がある反面、今年の採用を凍結する企業が出てきている。全体的には、前年よりも求人数は厳しい。
やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・2月に入ってから求人数に伸びは見られず、落ち込みは激しい。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・最近になり、輸送用機械器具製造業等の企業から、余剰人員の整理の相談が再び増え始めている。雇用調整助成金の申請も、対象人数は若干減少してはいるものの、高水準で推移している。先行きが見えない状況となっている。
悪くなっている	-	-	-